

子どもの医療費の無料化について

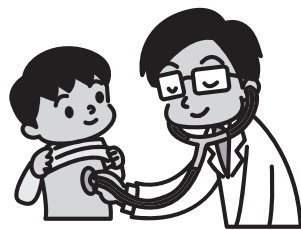
議員 市長のマニフェスト「住んで良かったまちづくり」には、『子どもは「市」の宝。ゼロ歳から小学校六年生までの子どもたちの医療費の無料化を実現します。』と書かれており、二十四年度、ゼロ歳から小学校卒業までの子供の入院費のみ無料化するための予算が計上されているが、通院費については予算計上されていない。通院費も無料にすべきであると思うが、今後、通院費の無料化はどのようなのか。

市長 今後は市の財政状況も鑑みながら、必要経費を精査するとともに、近隣市町村の状況も勘案してなるべく早い時期に実施できるように検討したいと考えている。

議員 隣の橋本市は、入院費も通院費も小学校を卒業するまで無料である。若い人達を五條市に呼び込むためにも、五條市から引越しをする人を防ぐためにも、ゼロ歳から小学校六年生までの子供の医療費の無料化を早急に実現していただきたい。若い人達に五條市に住んでもらおうと市長が本当に思っているのであれば、また子育て世代を五條市に呼び込み、元気な五條市にするためには、若い方々に住んでもらうことが一番である。

子供を持つているお母さん方が、医療費の無料化を待ちに待っているというこ

と、ゼロ歳から小学校六年生までの子供の医療費の無料化は、市長の「公約」であるということ強く申し上げておく。



新し尿処理施設の建設について

議員 新し尿処理施設の建設用地は低い土地柄であるが、浸水対策はどうなっているのか。

生活産業部長 建物の出入口等に止水板を設置し、建物内に水が入らないようにして、過去の浸水より更に一mの浸水に対応できるよう計画している。

議員 土砂が堆積し、場所によっては、当時の川底より三mから五mも浅くなっているという聞いている。リスクを低く見積っているということはないか。止水板は一m七〇cmで大丈夫か。

市長 再度調査をし、被害が起らないような形の浸水対策と費用対効果、併せて環境の配慮も検証しながら計画をしまいたい。

大塔町の引き続く救援活動と 復旧・防災計画について

議員 今年の冬は、大塔町天辻の仮設住宅では水点下八度になり、水道管が凍って、大塔支所から水道水を運ぶという予想外のことも起こっている。仮設住宅住まいや自宅住まいを含む全ての皆さんの要望を聴かせてもらう態勢を関係団体や役員の皆さんのお力の下、市の責任で続けることが大切ではないかと思う。また大塔町の皆さんへのアンケートでは、約半数の方が大塔町で住みたいと表明されており、これからの復旧工事の地質調査と併せて、現在把握している危険箇所以外でも危険な箇所や地域がないか重点を定めた調査を進めることが重要ではないかと思うが見解を聞きたい。

市長公室長 要望については自治会長さんや仮設住宅世話役の方などを通じてきめ細やかな対応をしまいたい。

都市整備部長 新たな危険箇所の調査については、奈良県と国が連携して監視、警戒、避難のシステムづくりの検討会や深層崩壊のメカニズム解明と対策の研究会が立ち上げられたので、連携して危険箇所の調査に取り組んでまいたい。

中学校の体育に関する武道の安全性と 保護者負担の軽減について

議員 武道には、柔道・剣道・相撲があるが、柔道については、名古屋大学の内田良准教授が、過去二十八年間で百十四人が死亡し、二百七十五人が重い障害を負っていると明らかにしている。市として慎重な対応と保護者負担の軽減についてどのように考えているのか。

教育部長 生徒の健康状態を把握し、初心者には指導を十分に行い、指導者には武道を経験した人を配置し、保護者負担を掛けずに行ってまいたい。

